

年間授業計画表(令和5年度)

教科名	理科	科目名	地学	単位数	5単位
使用教科書	地学 Earth Science(啓林館)		授業形態	必修選択授業	
補助教材	ニューステージ地学図表(浜島書店) センサー地学(啓林館)				
科目の目標	地学分野の基本的内容を、観察・実験などを行いながら理解させる。自然に対する探究心を高め、地学学的に探求する能力と態度を育てる。				
	内容・主題・項目など			備考・その他	
一 学 期	<p>第1部 固体地球の概観と活動</p> <p>第1章 地球の概観</p> <p>第2章 プレートテクトニクス</p> <p>第3章 地球の活動</p> <p>第2部 地球の歴史</p> <p>第1章 地表の変化と地層</p> <p>第2章 地球・生命・環境の歴史</p> <p>第3章 私たちの日本列島</p>			<p>・映像や実験を通して基本的な内容を理解する。</p> <p>・問題演習を並行して、知識の定着を図る。</p>	
二 学 期	<p>第3部 大気と海洋</p> <p>第1章 大気の構造</p> <p>第2章 大気の運動</p> <p>第3章 海洋と海水の運動</p> <p>第4章 気候変動と地球環境</p> <p>第4部 宇宙の構造</p> <p>第1章 太陽系の天体</p> <p>第2章 恒星の性質と進化</p> <p>第3章 銀河系と宇宙</p>			<p>・映像や実験を通して基本的な内容を理解する。</p> <p>・問題演習を並行して、知識の定着を図る。</p>	
三 学 期	総合問題演習			入試直前の確認と演習	
評価 方法	授業の出欠席、レポート、定期考査、その他(授業への参加の様子など)を総合して評価する。				

地学基礎演習

【はじめに】

地学基礎の復習をしたい生徒、大学入学共通テストを受験する生徒を対象とした授業を行います。1年で実施した内容を確認したり、深めたりしながら問題演習を行います。

【授業を受けるにあたって】

予習：地学の受験問題は、教科書の内容が理解できていれば十分に解ける問題ばかりです。まずは教科書をしっかり理解することから始めましょう。特に、教科書の図や表の見方に注意しましょう。

また、問題集を事前に見て、自分で解いておいてください。新たな発見、新たな気づきがあるでしょう。その上で、疑問点や納得のいかなかったことを授業中に解決するように授業を受けてください。

復習：学習のステップは、知識を増やし、それをどのように理解するかという原理・法則を理解することです。知識も理解も反復することで確かなものになります。毎時間そして單元ごとに復習しましょう。

【観点別評価の方法】

○ 知識・技能の習得

主に実験・実習のレポートの内容、定期テスト、小テスト等によって判断します。

○ 思考力・判断力・表現力の育成

主に授業における課題の発表、実験・実習のレポートの内容、教科書の思考学習の受け答え、記述課題の内容等によって判断します。

○ 学びに向かう力・人間性

主に授業、実験・実習での課題への取組、教師の質問に対する応答等によって判断します。

年間授業計画（令和4年度）

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	1単位
使用教科書	地学基礎	(実教出版)	授業形態	自由選択授業	
補助教材	セミナー地学基礎（第一学習社）、ニューステージ地学図表（浜島書店）				
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> 地球や宇宙に起きる現象について、概念や法則・原理の理解を深める。 地学的な時間・空間のスケールを正しく理解する方法を学び、それらを分析的総合的に考察できるようにする。 				
	内容・主題・項目など			備考・その他	
一学期	1章 地球の構成と運動			内容に並行して問題演習を行う。	
	2章 地球の変遷				
	3章 大気と海洋				
	4章 太陽系と宇宙				
二学期	4章 太陽系と宇宙			内容に並行して問題演習を行う。	
	5章 地球の環境				
	マーク式問題演習				
三学期	マーク式問題演習				
評価方法	授業の出欠席、小テスト、定期テストを総合して評価する。				

